

山と花のたより 83号

2009年3月25日 松尾忠

メールアドレス tadashi6414@smile.ocn.ne.jp

HP <http://www1.ocn.ne.jp/~yamahana/>

南の山で雪に遭う

3月13日夜、和歌山県南部の天気予報は0時まで降水確率100%、14日6時まで90%というものであった。14日から15日にかけて「オオヤマレンゲ山の会」の例会登山で那智の烏帽子山と果無山脈石地力山（いしちりきやま）とに登る予定だがどうしたものだろう。

普通だったら「中止」にするところだが、12人分の宿泊予約を湯川温泉・南紀荘にしてあるのだ。「14日午後は雨もやむでしょう」の予報に望みをかけて、JR高田駅前を6時35分に出発。

五條市から十津川村を走り抜けて熊野本宮などを見学、昼食を那智高原公園で摂ったが、冷たい風が吹き付けて、多くの人が車の中で弁当を開いていた。

午後ダートな林道に車を入れるが、余りにも荒れており、途中で車を捨てて、40分間林道歩き、さらに自然林の中の険路を辿って烏帽子山の頂を踏んだ。山頂のゴミを拾って早々に下山。温泉が有難かった。

15日は7時半に宿を立ち、十津川村果無集落まで車を走らせ、果無峠から石地力山をピストンしたが、ここで雪に遭ったのだ。思いがけない寒さに手足が凍えたが、落ち葉と雪とで柔らかさを増した果無山脈の縦走路はことのほか清しく、途中で遠望した大峰山脈高峰の白い連なりは見応えがあった。



新宮市速玉大社で



果無越えでのバイカオウレン



果無山脈の縦走路

二上山だより

カンスゲの花の盛りが過ぎ、鳥谷口古墳の桜が見頃の季節となった。春の花が次々と姿を現してくる。

祐泉寺から岩屋峠の谷筋には白、ピンク、薄紫のショウジョウバカマが咲き始めており、ミヤコアオイが珍妙な形の花を並べている。



馬の背への道に咲くダンコウバイ



ショウジョウバカマ (上、下)



タチツボスミレ



尾根筋でのシュンラン (右)

以上 83 号

